

令和 6 年

第 2 回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和 6 年 2 月 2 0 日開催

猪苗代町農業委員会

## 令和6年第2回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和6年2月20日（火） 午前9時30分

2. 場 所 猪苗代町農村環境改善センター 3階 農事研修室

3. 出席者

### 農業委員

1番 渡 部 誠	2番 小檜山 浩 子	3番 大 月 喜 裕
4番 高 橋 二三雄	5番 鈴 木 範 政	6番 鈴 木 正 晃
7番 遠 藤 正 浩	8番 丸 山 之 子	9番 二 瓶 公 司
10番 浦 大 輔	11番 安 達 壽 人	12番 土 屋 勇 雄

### 農地利用最適化推進委員

13番 笹 岡 正 人	15番 関 和 慎 一	18番 相 馬 裕 幸
20番 小檜山 正 次	22番 神 庄 也	

4. 事務局 局長 長谷川 勲 主幹 佐藤 すずい 主事 渡部 善和

(開議時間：午前9時30分)

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和6年 第2回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、2月1日告示し、同日付で、農業委員及び関係する農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、

出席委員12名、全員出席であります。

したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、招集告知を申し上げた委員は6名であります。

出席委員5名、欠席委員1名、うち届出欠席1名、

欠席委員は、17番 古川 昭一 委員であります。

委員の皆様に申し上げます。

各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を求められた場合は、挙手の

うえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、

2番 小檜山 浩子 委員

8番 丸山 之子 委員の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

報告第2号 情報の提供について（農作業標準賃金表）

報告第3号 農地法第18条の規定による通知について（合意解約）

議案第4号 農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第5号 現況確認証明願いについて

議案第6号 農用地利用集積計画の決定について

議案第7号 農用地利用集積等促進計画（案）の意見について

以上、6件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに、報告第2号「情報の提供について（農作業標準賃金表）」を議題といたします。

この案件につきましては、令和5年10月の総会時において、申請書審査委員会に見直しの是非を諮問した案件でありますので、鈴木 委員長から説明を求めます。

○鈴木範政 申請書審査委員長

それでは、報告第2号の情報の提供（農作業標準賃金表）について説明をいたします。

1月の定例総会において、令和6年度 農作業標準賃金策定に伴う経過説明をさせていただ

きましたが、重複する内容もございますが、ご了承ください。

まず、一般農作業賃金ですが、福島県の最低賃金の変動により増額しております。

また、ラジコン・ヘリ散布、そば・大豆コンバイン刈以外の料金については、近年の燃料や資材価格の高騰により一律10%の値上げをすることとしました。ラジコン・ヘリ散布、そば・大豆コンバイン刈料金については、関係機関からの回答により標記いたしました。

なお、検討の経過と理由の詳細につきましては、事務局より報告をお願いします。

#### ○事務局（佐藤 主幹）

それでは、答申書により報告いたします。

検討の経過と理由であります。農作業標準賃金表については、過去にJAにおいて「農作業受委託事業」を行っていたことから、その受委託料をもとに策定していた経緯がありましたが、現在は近隣市町村の賃金表、軽油等の燃料代、福島県の最低賃金の推移などを参考に案を作成し、カントリーエレベーターの利用料金を定めているJA及びそば大豆のコンバイン刈取料を定めている猪苗代町そば大豆等刈取作業受託組合（町農林課事務局）から意見を徴し、決定するものであります。

作業料金等の変更につきましては、一般農作業賃金を福島県の最低賃金は、令和5年10月1日以降で、900円（時間額）になっていることから実働8時間で、7,200円に、ラジコン・ヘリ散布料金については、JAより1,320円（税込み）の料金が示されましたのでその料金を反映させ、ドローン散布料金も同額といたしました。

JA及び猪苗代町そば大豆等刈取作業受託組合へ令和6年1月31日付けで、申請書審査委員会が検討した（案）についての意見を求めたところ、JA及び猪苗代町そば大豆等刈取作業受託組合からは意見がない旨の回答をいただきました。

なお、そば・大豆コンバイン刈の料金については、猪苗代町そば大豆等刈取作業受託組合の3月定例会にて料金を決定することから令和5年度の作業料金といたしました。

以上であります。

#### ○議長（土屋勇雄 会長）

鈴木委員長及び事務局より説明が終わりましたが、この案件については、報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

#### ◎議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、報告第3号「農地法第18条の規定による通知について（合意解約）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

#### ○事務局（佐藤 主幹）

報告第3号「農地法第18条の規定による通知（合意解約）」について、説明します。

この報告は、農地の貸借契約を解約した旨、貸借契約の当事者から通知がありましたので報告するものであります。

4頁をご覧ください。

No.1の貸付人は福島県農業振興公社、借受人は〇〇の〇〇 〇〇で、解約理由は、耕作者を変更するためであります。

No.2からNo.4は同じ借受者の案件であります。

No.2の貸付人は〇〇の〇〇 〇〇、No.3は〇〇の〇〇 〇〇、No.4は〇〇の〇〇 〇〇で、いずれも借受人は〇〇の株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇であり、解約理由は、農地を返還及び新たな耕作者に変更するためであります。

解約地積、貸借期間及び合意解約日等につきましては議案書記載のとおりです。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件につきましても報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第4号「農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第4号「農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。この議案は、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

6頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は、福島県農業振興公社、譲受人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、字〇〇39番 田1筆 8,152㎡を、10a当たり509,948円で売買するものであります。

譲受人の経営状況等は、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります13番 笹岡 正人 推進委員に報告を求めます。

○13番（笹岡正人 推進委員）

No.1について、令和6年2月10日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅に電話をし、調査書に基づく調査を実施したので、報告いたします。

本申請は、農地中間管理機構を介した農地の売買であり、平成31年4月に農地中間管理機構である福島県農業振興公社が買い入れた当該農地、田 1筆を譲受人である ○○ 氏へ所有権移転するものであります。

○○ 氏は、令和元年当時、福島県農業振興公社と5年間の分割による割賦売買契約を締結しており、この度、土地売買代金が完済されたことから、所有権を移転するため、本申請に至ったものであります。

なお、完済までの5年間については、使用収益権の設定により、当該農地を使用してきたところであります。

申請に対する調査の結果としましては ○○ 氏は、認定農業者であり、農作業に常時従事することができるとともに、機械の保有状況や周辺地域との調和要件等、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

1番 渡部 誠 農業委員に申し上げます。  
調査報告に補足があればお願いします。

○1番（渡部誠 農業委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。  
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第4号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第4号のNo.1は、申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第5号「現況確認証明願いについて」を議題といたします。  
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第5号「現況確認証明願いについて」説明いたします。

この議案は、農業委員会の証明の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

8頁をご覧ください。

No.1の申請人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、申請地は、大字〇〇字〇〇2788番1 畑 1筆  
878㎡であります。

申請事由としましては、平成8年6月以降、30年近く管理等が出来ず、杉が植生し山林化したものであります。

議案説明資料の3頁・4頁が、申請地の案内図、公図となっておりますので併せてご覧願います。

次にNo.2の申請人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、申請地は、大字〇〇字〇〇620番 田 1筆  
1,399㎡であります。

申請事由としましては、昭和50年6月以降、50年近く管理や耕作等が行われず原野化したものであります。

議案説明資料の5頁・6頁が、申請地の案内図、公図となっておりますので併せてご覧願います。

この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に、現地調査への立会いをお願いし提案しております。

なお、今回は現地調査時の写真をタブレットでご確認いただけるよう準備いたしましたので、お二人で1台となる方もいらっしゃると思いますが、タブレットでも併せてご確認いただきたいと思います。

では、タブレットの操作手順について、渡部よりご説明申し上げます。

○事務局（渡部 主事）

わたしの方から、タブレットの操作説明をさせていただきます。

お手元のタブレット端末を、わたしがこれから申し上げる手順で捜査していただきますと、議案説明資料の内容が、ご覧いただけます。

現地調査時の写真をカラーで掲載しておりますのでご確認ください。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります11番 安達 壽人 農業委員に報告を求めます。

○11番（安達壽人 農業委員）

議案第5号のNo.1について、令和6年2月9日の午後2時より、私と 相馬 裕幸 推進委員、申請者代理人及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しました。

申請地は、〇〇地区の主要地方道猪苗代塩川線北側の畑で、農振農用地区域外（白地）の農地です。

申請人は平成8年6月に相続により該当地を取得しましたが、町外在住のため管理等が出来ないまま30年近く経過し、杉が植生し山林化したものであります。

よって、今後農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

18番 相馬 裕幸 推進委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○18番（相馬裕幸 推進委員）

特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、審議を行います。

調査結果については、平成8年6月に相続により取得したが、町外在住のため管理等が出来ず30年近く経過し、杉が植生し山林化しており、耕作が出来ない状況であります。

今後、農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第5号のNo.1について、願い出の通り、非農地と決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第5号のNo.1については、願い出の通り、非農地と決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.2の調査員であります7番 遠藤 正浩 農業委員に報告を求めます。

○7番（遠藤正浩 農業委員）

議案第5号のNo.2について、令和6年2月9日の午後1時30分より、私と神庄也推進委員、申請者代理人、農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しました。

申請地は、〇〇行政区東側の農地で、農振農用地区域内（青地）の農地です。

申請人の父が土地改良法による換地処分にて昭和50年6月に取得しましたが、石等が散在する耕作条件の悪い農地で、取得当初より50年近く管理や耕作等が行われず原野化したものであります。

この度、申請人が相続により該当地を取得しましたが、現況に合わせた本来の地目に変更するため申請があったものであります。

現地調査の結果としては、今後農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

22番 神 庄也 推進委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○22番（神庄也 推進委員）

特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、審議を行います。

調査結果については、換地処分にて、昭和50年6月に取得したが、石等が散在する耕作条件の悪い農地で、取得当初より50年近く管理や耕作等が行われず原野化しており、耕作が来ない状況であります。

今後、農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

○11番（安達壽人 委員）

今ほどの説明ですと、石が散在する耕作条件の悪い農地で、原野化して耕作が出来ない状況とのことでありますが、写真で見る限りトラクターで耕耘したら、すぐ農地に出来そうな感じに見受けられます。

昭和50年に土地改良換地を受けたということですが、その昭和50年以前にも農地だったので換地処分となったと思われますが、その当時から石がごろごろと散在する状況で、耕作していたということでしょうか。石がどのくらいの状況で存在するのかというところが分からないので、教えてください。

○事務局（佐藤 主幹）

取得した当時より、石がごろごろと散在し、耕作等が出来ない状況であったため、原野化したものと聞いております。

土地改良換地処分以前の、現地の状況については把握しておりませんでしたので、ご了承願います。

○議長（土屋勇雄 会長）

ほ場整備事業によって、表面の土が剥ぎ取られて無くなり、そういう田んぼになったと言うことも考えられると思います。

○11番（安達壽人 委員）

はい、了解しました。

○6番（鈴木正晃 委員）

確認ですが、本案件については登記地目が田ですので、土地改良区の受益地となっていると思われますが、今後の経過としてはどのようにになりますか。

○事務局（佐藤 主幹）

はい、今回の総会において非農地の判断が承認されれば、猪苗代町農業委員長名で非農地であることの証明書を発行いたします。

申請人の方は、その証明書を添付し法務局で地目変更登記を行っていただく事になります。

なお、この証明書の発行時点で、所有者の方には地目変更登記完了後は、登記完了証の写しを添付し、土地改良区への地区除外の届出を行っていただくよう、併せてご案内したいと思っております。

○6番（鈴木正晃 委員）

はい、了解しました。

○9番（二瓶公司 委員）

本件の耕作出来ない理由は、石がごろごろしているからとの事ですが、石があると耕作出来ないとすれば、〇〇周辺の農地は、それこそ大型の石があったとしても、そこを避けて耕作している訳で、この写真だけでは非農地かどうかの確認は出来ないと思います。

○議長（土屋勇雄 会長）

現地調査においては、その辺のところも確認しております。

今回は、タブレット端末を使って、皆さんに少しでも分かりやすい説明が出来ればと、写真でご覧いただきましたが、今後の反省点として、調査理由書の内容が、確認できるような調査写真を掲載できるようにするということで、いかがでしょうか。

○9番（二瓶公司 委員）

はい、了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

では、その他、意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第5号のNo.2について、願い出の通り、非農地と決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第5号のNo.2については、願い出の通り、非農地と決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第6号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。  
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第6号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするもの  
あります。

10頁をご覧ください。

個人間の相対による利用権設定であります。

なお、今回も貸手及び借手、筆数、面積のみ読み上げさせていただきますので、契約期間及び  
10a 当たり賃借料等につきましては、議案書にてご確認願います。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇 が 〇〇の〇〇 〇〇 に 畑 2筆 1,717 m<sup>2</sup>を

No.2は、〇〇の〇〇 〇〇 が 〇〇の株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 に  
田 17筆 53,226 m<sup>2</sup>と畑 9筆 2,823.04 m<sup>2</sup>を

No.3は、〇〇の〇〇 〇〇 が 〇〇の 有限会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 に  
田 2筆 7,237 m<sup>2</sup>を

No.4は、〇〇の〇〇 〇〇 が 〇〇の〇〇 〇〇 に 田 3筆 3,251 m<sup>2</sup>と 畑 1筆  
853 m<sup>2</sup>を

No.5は、〇〇の〇〇 〇〇 が 〇〇の〇〇 〇〇 に 田 6筆 13,717 m<sup>2</sup>を  
それぞれ貸し付けるものであります。

次に14頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社借入れ分であります。

なお、本件も貸手及び借手、筆数、面積のみ読み上げさせていただきますので、契約期間及び  
10a 当たり賃借料等につきましては、議案書にてご確認願います。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 4筆 21,480 m<sup>2</sup>を 〇〇の〇〇 〇〇 に

No.2は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 6筆 12,434 m<sup>2</sup>を 〇〇の〇〇 〇〇 に

No.3は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 4筆 6,480 m<sup>2</sup>を 〇〇の〇〇 〇〇 に

No.4は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 3筆 23,047 m<sup>2</sup>を 〇〇の〇〇 〇〇 に  
No.5は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 1筆 1,771 m<sup>2</sup>を 〇〇の〇〇 〇〇 に  
No.6は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 3筆 3,584 m<sup>2</sup>を 〇〇の〇〇 〇〇 に  
No.7は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 1筆 991 m<sup>2</sup>を 〇〇の〇〇 〇〇 に  
No.8は、〇〇の〇〇 〇〇 の 田 5筆 13,859 m<sup>2</sup>を 〇〇の 有限会社 〇〇〇〇

代表 〇〇 〇〇 に

それぞれ、公社が借り受け、借受者に貸し付けるものであります。

次に、16頁から18頁は、これと同じ内容の公社貸付分であり、議案書記載のとおりであります。

この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」について、利用権設定案件については、担当地区の推進委員の方に調査票に基づく調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行いますが、議案第6号の利用権設定No.1は、〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員が、利用権設定No.4は、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員が、機構借入No.3と機構貸付No.3は〇〇が、議事参与の制限に該当しますので、それらを除いた案件を先に審議したいと思います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第6号の利用権設定No.1とNo.4、機構借入No.3と機構貸付No.3以外の案件について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第6号の利用権設定No.1とNo.4、機構借入No.3と機構貸付No.3以外の案件については原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第6号の利用権設定No.1を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員の退席を求めます。

（〇〇〇〇 推進委員 退席）

それでは審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第6号の利用権設定No.1について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第6号の利用権設定No.1については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員の出席を求めます。

（〇〇〇〇 推進委員 出席）

〇〇番 〇〇 〇〇 推進委員に報告します。

議案第6号の利用権設定No.1については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第6号の利用権設定No.4を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の退席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 退席）

それでは審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第6号の利用権設定No.4について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第6号の利用権設定No.4については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の出席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 出席）

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員に報告します。

議案第6号の利用権設定No.4については原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第6号の機構借入No.3と機構貸付No.3を審議いたします。

この案件につきましては、〇〇 〇〇 の案件であり、議事参与の制限に該当しますので、議長を11番 安達 壽人 農業委員会長職務代理者をお願いし、〇〇は退席いたします。

（〇〇〇〇 農業委員〇〇 退席）

○議長（安達壽人 会長職務代理者）

それでは、議案第6号の機構借入No.3と機構貸付No.3については、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員〇〇の案件でございますので、私が議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議案第6号の機構借入No.3と機構貸付No.3の審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第6号の機構借入No.3と機構貸付No.3について、原案のとおり決することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第6号の機構借入No.3と機構貸付No.3については、原案のとおり可決されました。

〇〇 〇〇 農業委員〇〇の出席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員〇〇 出席）

○議長（安達壽人 会長職務代理者）

〇〇 〇〇 農業委員〇〇に報告します。

議案第6号の機構借入No.3と機構貸付No.3については、原案のとおり可決されました。

それでは、該当案件が終わりましたので、議長を 〇〇 〇〇 農業委員〇〇をお願いいたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第7号「農用地利用集積等促進計画（案）の意見について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 主幹）

議案第7号「農用地利用集積等促進計画（案）の意見について」説明いたします。

この議案は、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定により、猪苗代町長から農業委員会の意見を求められたので審議をお願いするものであります。

20頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社貸付（再転貸分）であります。

No.1は、〇〇の株式会社 〇〇〇〇 代表取締役社長 〇〇 〇〇 に 田 3筆 7,135 m<sup>2</sup>を 期間10年 10a 当たり13,000円で 公社が貸し付けるものであります。

次に21頁をご覧ください。

農地中間管理事業の特定貸付（農作業受委託分）であります。

No.1は、〇〇の 〇〇 〇〇 の 田 16筆 39,960 m<sup>2</sup>を 使用貸借により公社が借受け基幹三作業及び販売を、〇〇の株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 に委託するものであり、作業単価及び貸付期間等につきましては、議案書記載のとおりであります。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第7号の案件について、「異議ない」旨回答することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第7号の案件については、「異議ない」旨回答することに決定しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

ありがとうございました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、これをもちまして、令和6年 第2回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

(閉会時間：午前10時21分)

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 6年 2月20日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人